

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	39	学校名	静岡県立静岡農業高等学校	校長名	望月 康弘
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

静岡県中部地区の3系列、5学科を有する全日制農業科専門高校及び静岡県の農業教育中心校として、「真実・自律・友愛」の校訓のもと、常に「生徒と共に、地域と共にある」ことを目標に、実践的な農業教育を推進し、感謝の気持ちや思慮深さ、チャレンジ精神や創造力・想像力・実践力を持ち合わせた地域でリーダーシップが取れる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>「農こそは国のもとなり」の理念のもと、知る力、活かす力、応える力を発揮できる人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心豊かな人間性と基本的な生活習慣を身に付け、求めて学ぶ姿勢の育成 ・ 農業教育を基盤とした学びと、各学科における専門的知識と技術・技能の習得 ・ これからの社会を生き抜く力と地域社会に積極的に関わり、貢献するための資質・能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した授業による基礎学力保障とともに、実践的な実験・実習 ・ 自己目標の明確化と自己実現のための3年間を見通したキャリア教育 ・ 学びを生かすための積極的な地域交流・地域貢献等の多様な学びと体験の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の校訓及び教育目標に共感し、地域社会に貢献する高い志を持つ生徒 ・ 農業・環境・食品等に対する興味・関心を持ち、主体的に学ぶ生徒 ・ 基礎学力を有するとともに、実験・実習等に積極的に取り組む生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基本的な生活習慣を確立するとともに、教養力を高め、心豊かな人間性を育む教育の推進と安全・防災意識の高揚に努める。
- イ 求めて学ぶ姿勢を育て、農業教育を基盤とした学力向上と専門的知識・技術の習得とともに、プロジェクト学習等の特色ある充実した授業により、魅力ある学校づくりを推進する。
- ウ 産学官及び地域連携・地域貢献等の教育活動を推進することで、コミュニティスクールとして地域に信頼される学校を目指す。
- エ 学系及び学科、学年、分掌等の連携を推進し、生徒指導及び教育相談、キャリア教育等の充実を図るための体制を構築する。
- オ 学校行事、部活動、課外活動等に主体的に取り組む生徒の育成を図る。
- カ ICT活用及びネットワーク等の環境整備・充実とともに事務処理等の効率化を図る。
- キ 経営計画に沿った教育活動の充実のために、良好な学習環境の整備・充実を図る。
- ク 農業科関連部門において、望ましい農業生産工程管理及び食品衛生等の管理を確立する。
- ケ 教職員の働き方改革に取り組み、ワークライフバランスを推進する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

No.	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
1	豊かな人間性を育む教育と安全・安心な教育活動の推進	・全教職員による生徒への声掛け指導を継続的に実施し、さわやかな挨拶、正しい言葉遣い、整った身だしなみを身に付けさせる。	・定期的な登校指導、挨拶運動の実施。 ・身だしなみ検査初回合格率の全校平均 85%以上。	生徒

様式第 1 号

		<ul style="list-style-type: none"> ・新入生全員に対する 1 分間カウンセリングの実施。 ・1, 2 年生に対して学校生活に関するアンケートの実施。 ・相談室の常時開放。 ・学校・家庭・地域が連携した保健・相談活動及び交通安全、災害発生を想定した防災訓練等を機能させ、関係機関等と連携を図り安心・安全で充実した教育活動を推進する。 ・朝食摂取率を高めること b で、生徒の 1 日の安全で活発な活動に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を含め不安を感じている生徒に対して、安心して生活を送れるように早めに対策を講じる。必要に応じてスクールカウンセラーとのカウンセリングを実施する。 ・相談したい時にいつでも相談できる体制を整える。 ・PTA安全委員による街頭指導の実施。 ・千代田消防署と連携した防災訓練の実施。 ・地域防災訓練参加率 80% 以上。 ・朝食摂取率年間平均 97% 以上を目指す。 	<p>教育相談</p> <p>総務</p> <p>保健</p>
2	<p>生徒の学ぶ意欲を高め、論理的、科学的思考力の育成と特色ある教育活動の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計算力テスト、英単語テストを年間 6 回ずつ、漢字テストを年間 7 回実施。 ・平成 30 年告示の学習指導要領に対応した年間指導計画及びシラバスの作成・実施、観点別評価の計画・実施。 ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を展開するとともに、BYODを前提とした、ICT活用教育を推進する。 ・読書・講演等から知的好奇心を育てる。 ・学校農業クラブ活動のプロジェクト学習を広げ、学校の特色を活かし、地域に密着した魅力ある教育活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、計算力、英単語テストの計画的な実施。 ・平成 30 年告示の学習指導要領への対応。 ・授業参観週間において、BYODを含むICTを活用した授業を公開する。 ・年間の研修テーマとして「授業改善のためのICT研修」を県教育センターと連携して実施する。 ・年間貸し出し数を全校で 2500 冊、一人当たり 4 冊以上。 ・芸術鑑賞教室の継続的な実施。 ・意見発表・プロジェクト発表県大会において複数の入賞。 ・農業鑑定競技会全国大会において入賞 3 件以上。 	<p>教科</p> <p>教務</p> <p>研修情報</p> <p>図書</p> <p>農業</p>

様式第1号

3	<p>キャリア教育の充実と生徒一人ひとりの進路実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい勤労観や職業観を育成するため、キャリア講演会、進路ガイダンスやインターンシップ等を実施する。 ・各学年部、学系と連携し、個々の進路に対応したキャリア教育を推進する。 ・進路シラバス(指導計画)の充実と、校内組織の「連携」により進路指導体制を充実させ、生徒一人ひとりの進路実現を図る。 ・「目指す生徒像」に掲げる力をキャリア教育の様々な場面で発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職、進学決定率 98%以上。 ・1、2年キャリア講演会、進路ガイダンス、3年生就労に関する講話の実施。 ・「アグリマイスター顕彰制度」への申請を年 20 件以上すすめる。 ・日本農業技術検定の2級合格 10 名以上。 	<p>進路課</p> <p>農業</p>
4	<p>学校行事、部活動、課外活動等に主体的に取り組む生徒の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会・委員会・部活動で明確な目標を立て、目標達成に向けた着実な活動を推進する。 ・学校行事、部活動等での生徒の積極的な取組を学校全体で支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動県大会以上の壮行会実施。 ・部活動の目標と活動成果を共有する地域連携活動の実施。 ・PTAと連携した教育講演会の開催及び静農祭におけるPTA模擬店の出店。 	<p>生徒</p> <p>総務</p>
5	<p>産学官や地域との連携・貢献活動等による、農業高校魅力化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学系や学科、全校を挙げて取り組む交流活動や奉仕活動を計画的かつ積極的に推進する。 ・大学や産業界・行政機関等地域の教育力を積極的に活用し、地域連携活動を推進する。 ・新学習指導要領に基づき、新たな課題を踏まえたプロジェクト学習を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外でのイベントに積極的に参加する。 ・学校祭・農場販売で積極的な地域交流を行う。 ・委員会等で環境整備に取り組む。 ・次世代へと繋がる研究活動の推進。 	<p>生徒</p> <p>農業</p>
6	<p>学校の情報化と校務処理等の合理化推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページやSNSを利用した活発な情報発信を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等は積極的にホームページにアップする。(週1～2回以上を目安とする) ・SNSを個人情報保護に配慮しつつ適切に活用する。 	<p>研修情報</p>

様式第1号

		<ul style="list-style-type: none"> ・諸手続きの事務処理や会計処理の研修を行うことにより、業務の適正化、合理化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理や会計処理に関する定期的な研修機会の確保と、合理化を図るための業務改善に取り組む。 	事務
7	教職員の働き方改革とワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革に関する国・県の取組を踏まえ、達成可能な目標を設定する。 ・分掌ごと作業目標スケジュール表等を活用し、業務の合理化を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏・冬休み期間に、休暇取得促進日を設定。 ・定期テスト2日目に、定時退勤日を設定。 ・作業目標スケジュールによる業務管理。 	総務
8	教育予算の効果的運用と施設・設備の計画的な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画に根ざした予算編成と計画的かつ丁寧な予算により教育活動の充実を図る。 ・施設・設備を計画的に維持し、良好な学習環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営予算の執行率2学期末80%以上。 ・施設設備の安全点検を年3回実施。 	<p>事務</p> <p>事務</p>